

議事録

令和7年度 第2回彦根市地域スポーツ・文化クラブ活動整備推進協議会

日時：令和7年10月30日(木)15:30～16:45

場所：彦根市役所5階 会議室5-1

1 開会挨拶

時間縮減のため省略

2 報告事項

令和8年度文部科学省 概算要求について

- ・8/29に公表された文部科学省の令和8年度予算概算要求資料において、次年度から国は実証事業を終了し、補助事業とすることが明らかとなった。補助割合や条件等はまだ示されていないが、本市としても実証事業を終了し、本格的な部活動改革を展開していく必要が生じてきた。

「認定地域クラブ活動」について

- ・9/24に開催された都道府県・指定都市スポーツ主管課長会議の中で、国は学校部活動の地域展開によって創設される「地域クラブ活動」を民間のクラブチーム活動と区別し、活動の質を保障する観点から、市町等において地域クラブを認定する仕組みについて公表した。

3 協議事項についての質問および意見

改革実行期間における彦根市の部活動改革方針について

- ・実証事業終了に伴い、これまでに展開してきた地域クラブは受益者負担が増額となる可能性が高い。学校間、または競技間格差をなるべく早く解消する必要があることから、令和9年度8月から休日の学校部活動を廃止し、「認定地域クラブ活動」を展開できるように取り組んでいきたい。
- ・令和9年8月から地域展開を本格化するなら、今年度末の中学校入学説明会で伝える必要がある。学校が伝えるより先に、市が周知するべきではないか。
 - 市からプレスリリースなどにより、広く周知する必要があると考えている。今後行う予定の意向調査の前に発表するべき。
- ・土日の部活動をしないということは、受け皿を決めてからではないか。
 - 今後の見込み等を伝えて、指導者を確保していく。生徒に対するアンケートで需要があるのか。これまでのアンケート結果からみると、不可能ではないか。
- ・受益者負担について 土日参加者からは全員集めるのか。
 - 額については、実施主体によって変わっていくものではないかと思うが、約3000円を集めておしならべると可能と見込んでいる。これは、国の補充がない場合、稲枝の実証事業からよみとくと3000円程度であるため、市内全体で今の入部している数の50%が地域クラブに参加したとすると、1000～1500円程度でまわせるのではないか。

- ・ 小学校の先生への説明はどうするのか？
→ 以前は動画資料を作成したので、それと同じ形で今回も資料をつくって周知する予定。
- ・ 市認定地域クラブの設置主体はどこか。
→ 認定を行うのは市町の部局（R8年度は学校教育課でコーディネーター等の予算組みをしている）それ以降の部局については、要検討事項。学校単位での説明や質問を受けづらい。市長部局が担うべきではないか
- ・ 大会参加については中体連が判断の基準となってやっている。地域クラブの大会参加へのハードルについての手立ては？
→ 現行制度ではハードルがあるため、地域クラブでの大会参加は県に対して承認を求めていくものの、将来的なものと考えている。
- ・ 運営主体には、各クラブのモニタリングや受益者からの問い合わせ対応など様々な業務が求められる。しっかりと組織体制づくりを進めないといけない。
- ・ 通学している学校にない活動に参加できることが、部活動改革の最大のメリットの一つ。そうしたメリットをしっかりと受益者に伝えていかないといけない。

部活動改革にかかる啓発および調査の実施について

- ・ 今後の部活動改革のための根拠資料とするため、今年度も教職員、児童生徒および保護者を対象としたアンケート調査を実施したい。これまでの調査では、部活動改革に関する情報不足により、信憑性のあるデータが得られなかったことから、今回は啓発用の動画等で十分に周知を図った上で調査を実施したい。
- ・ 周知する部分はどこまでするのか。アンケート前から R9 年度の 8 月から土日の学校部活動を廃止すると出してよいのか。
→ そうした方向で取組を進めているということは伝えないと、調査結果が信憑性のあるものにならない。

4 事務連絡

次年度予算編成に向けての取組について
 今後の協議会の予定 ※本日と同時間帯
 次回…2月中旬予定

5 閉会挨拶（会長）